

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

小児アレルギー性鼻炎診療の手引き

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会，日本小児耳鼻咽喉科学会，日本鼻科学会，小児アレルギー性鼻炎診療の手引き作成委員会

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会誌 2024 年 4 巻 3 号

Minds 掲載 無

■1 小青竜湯、葛根湯、苓甘姜味辛夏仁湯

疾患：

小児アレルギー性鼻炎

有効性に関する記載ないしその要約：

『第 5 章治療』の『IV 薬物療法』の項に以下の記載がある

『漢方薬では小青竜湯，葛根湯，苓甘姜味辛夏仁湯などが用いられている』

■2 小青竜湯

疾患：

小児アレルギー性鼻炎

引用など：

稲葉博司：アレルギー性鼻炎・花粉症．耳鼻咽喉科漢方薬処方ガイド．市村恵一編．中山書店；2015：pp. 64-77.

有効性に関する記載ないしその要約：

『第 5 章治療』の『IV 薬物療法』の項に以下の記載がある

『小青竜湯のみがプラセボとの比較対照試験がおこなわれ有効性が証明されている。速効性・持続性から見ると，麻黄中に含まれているエフェドリンが作用していると考えられるが，そのほかの作用機序については不明な点も多い』